

どうぶつえん
動物園の

まめ
豆

ちしき
知識!

とくしゅう
特集

ファンボルト
ペンギンの
あがちゃん



はんしよく

ファンボルトペンギンの繁殖



さくねん がつまつ がつ はじ たいぼう
昨年の11月末から12月の初めにかけて、待望の
ヒナが誕生しました。

まるやまどうぶつえん ながねん はんしよく
円山動物園では、長年ファンボルトペンギンの繁殖を
こころ みてきました。いつも 孵化してから1週間くらいで
ヒナが死んでしまっていました。ファンボルトペンギンは、
のんきそうですが、
みかけによらず大変
神経質な生き物です。
また、日本の夏の高
温多湿に弱く、病気
にもかかりやすくな
ります。



ファンボルトペンギンの
巣立ち

子育てする親鳥は特に神経質になり、子育てをやめ
たり、子育ての最中で死んでしまうこともあるため、親
鳥のストレスを減らすことが大切なこととなっています。
このため、岩場を好む性質があることから、プールの
両端に岩を運び、コンクリートで固めて岩場を作り、親
鳥が休むことができる場所にしました。

また、子育てする巣
箱に、他のペンギンが
入り込んで親鳥とケン
カをするのを防ぐため
に、巣箱の出入り口を
狭くして、他の鳥が入り
にくいようにしました。



2羽のヒナ

この巣箱は内部が湿気でむれないように箱の板壁の
下に隙間ができるようにしています。さらに巣の材料
となる竹の小枝を、親鳥同士が取りあわないようにふ
んだんに与えました。



SOUTH
AMERICA

南アメリカ

このように、注意を払っていても、孵化した2羽の内、
1羽しか生育しませんでした。けれども、残った1羽は
すくすくと育ち、他の大人の鳥と一緒にプールで泳ぐま
でになりました。

ファンボルトペンギンの繁殖地は、南アメリカのペル
ーからチリの沿岸ですが、その場所も年々減り続けて
います。このため、世界中の動物園で遺伝的な管理の
下に、計画的な繁殖を試みています。